

春季彼岸会

並

総永代経法要

兼・墓地納骨(物故者)追弔法要

日時

3月19日(火)午後1時30分

講題

「浄土の荘厳」

法話

澤田 見 師 (12組清澤寺住職)

講師からのメッセージ

曾我量深師のお言葉に、「見えざるものを見させていただく、これを光という。見えざるものをむこうから形をあらわして見せしめてくださる。これを荘厳という。荘厳をもって如来は見えざるものの目をひらき、われここにありとしめしてくださる」とあります。彼岸会にあたり、あらためて「浄土の荘厳」とはどのようなことなのか。そして私たちが普段目にしているお寺のお内陣、お内仏の「おかざり」にはどういう意味があるのかということ、とくに前卓(まえじょく)に置かれる三具足(みつぐそく)〈お花・お香・おひかり〉を中心に考えてみたいと思っています。